

経営改革プラン取組項目		過去の主な取組実績 (平成18～22年度)	平成23年度取組計画		
項目	内容		取組内容	実績	
① 事務事業 の見直し	<p>【収益部門】</p> <p>①直売所</p> <ol style="list-style-type: none"> 安定した品質の商品提供 安定した商品の提供 豊富な商品の提供 特色ある商品提供 喜ばれるイベントの開催 喜ばれる日曜市の開催 買い物のしやすい店内レイアウト 生産者の顔の見えるPOP表示 情報機関への積極的なPR 観光バスやデイサービス事業所等への営業強化 イベント(物産展など)参加による店舗および商品のPR <p>②レストラン</p> <ol style="list-style-type: none"> 求めやすい価格提供 好まれる定番メニュー構成 気軽に利用できる店内雰囲気づくり 素早く提供できる体制づくり 適正な営業時間検討 地域の産品をいかしたメニュー提供 イベント的な指向の変わったメニュー提供 空き時間を活用しての加工商品開発 	<p>■ 収益部門</p> <p>【直売所】</p> <ul style="list-style-type: none"> 直売所利用規程の運用開始(平成19年7月～) 出品者グループとの連携強化(年10回以上の定期会合) 定期的なイベント開催(朝市年52回、イベント年3回) 直売所委託販売システムの活用(データに基づく売れ筋、陳列、包装等アドバイス) 直売所営業時間の見直し(平成19年4月～) 休館日の一部見直しの実施(5月・8月・10月・11月・12月・3月を月1回に変更) 観光バス誘致営業活動の実施 ふるさと便の定期販売の実施 店内レイアウトの変更(22年7月) 薩摩川内市特産品枠の増枠 <p>【レストランコーナー】</p> <ul style="list-style-type: none"> 厨房施設の移設実施(平成20年2月) 営業時間の見直し(平成20年2月～)(従来)9:00～16:00⇒(変更)11:00～17:00 食事スペースの改善実施 仕入原価の低減化取組み 衛生面の徹底 	上 期	<p>【直売所】</p> <p>1. 安定した品質の商品提供</p> <ol style="list-style-type: none"> 出品者グループ代表委員会を中心とした意見交換会の開催(4月・7月・9月) 市役所、北薩地域振興局、川薩保健所の関係機関を中心とした勉強会開催(9月) 「遊湯館直売所利用規定」内「商品の販売期間」の見直し検討(7月) 従業員の日々の業務(商品管理)の継続実施及び強化(毎日) 出品者個別の意見交換、指導の継続実施及び強化(毎日) 直売所委託販売システムの入替実施(6月) <p>2. 安定した商品の提供 3. 豊富な商品の提供</p> <ol style="list-style-type: none"> 出品者個別の意見交換、依頼の継続実施及び強化(随時) 農産物の自社仕入(市場商品)または、品薄時期対応の加工食品仕入検討 <p>4. 特色ある商品提供</p> <ol style="list-style-type: none"> 薩摩川内市特産品コーナー出品取り組み 他の道の駅との商品交流の実施検討(道の駅分科会を通じて) <p>5. 喜ばれるイベントの開催 6. 喜ばれる日曜市の開催</p> <ol style="list-style-type: none"> 出品者グループを中心とした定期イベントの開催⇒8月:夏休み子ども祭り開催、鰻魚祭り開催 5%還元販売方法の見直し検討⇒全体5%還元から目玉商品販売への移行の検討 <p>7. 買い物のしやすい店内レイアウト 8. 生産者の顔の見えるPOP表示</p> <ol style="list-style-type: none"> 遊湯館従業員を中心とした定期検証の実施⇒導線・通路幅・陳列高低差・店舗照明(随時) 商品イメージが一瞬でわかるPOP(広告)表示の作成(随時) <p>9. 情報機関への積極的なPR</p> <ol style="list-style-type: none"> 新聞社・ラジオ・テレビ・情報誌等を最大限活用したPRの実施(随時) 自社ホームページの見直し検討の実施 <p>10. 営業の強化</p> <ol style="list-style-type: none"> 観光バスへの営業を強化(9月) デイサービス施設への営業を開始(6月) <p>11. イベント参加による店舗および商品のPR</p> <ol style="list-style-type: none"> 道の駅セット販売の実施(6月) 	<p>【直売所】</p> <p>1. 安定した品質の商品提供</p> <ol style="list-style-type: none"> 出品者グループ代表委員会を中心とした意見交換会の開催(4月・7月・9月)⇒7月16日・7月21日・7月21日開催 市役所、北薩地域振興局、川薩保健所の関係機関を中心とした勉強会開催(9月)⇒7月23日・9月15日開催 「遊湯館直売所利用規定」内「商品の販売期間」の見直し検討(7月)⇒7月12日開催出品者代表委員会にて検討実施 従業員の日々の業務(商品管理)の継続実施及び強化(毎日)⇒毎日実施 出品者個別の意見交換、指導の継続実施及び強化(毎日)⇒搬入時毎日実施 直売所委託販売システムの入替実施(6月)⇒7月1日稼働開始 <p>2. 安定した商品の提供 3. 豊富な商品の提供</p> <ol style="list-style-type: none"> 出品者個別の意見交換、依頼の継続実施及び強化(随時)⇒商品搬入時随時実施、並びに、メール配信導入による入荷促進の実施 農産物の自社仕入(市場商品)または、品薄時期対応の加工食品仕入検討⇒市場商品取扱業者と密に連携を図り不足商品の補充依頼を随時実施 <p>4. 特色ある商品提供</p> <ol style="list-style-type: none"> 薩摩川内市特産品コーナー出品取り組み⇒特産品コンクール受賞商品の出品については積極的に取入れ実施(上期では、薩摩川内市商工会女性部) 他の道の駅との商品交流の実施検討(道の駅分科会を通じて)⇒上期では未実施 <p>5. 喜ばれるイベントの開催 6. 喜ばれる日曜市の開催</p> <ol style="list-style-type: none"> 出品者グループを中心とした定期イベントの開催⇒6月:鰻魚祭り開催 8月:夏休み子ども祭り開催・刑務所矯正展開催 8月:食生活改善グループ提携による試食会定期開催実施 8月:パッチワーク展示会開催 5%還元販売方法の見直し検討⇒毎週日曜日 先着100名(1,000円以上お買上げ)抽選会実施(空くじ無し) <p>7. 買い物のしやすい店内レイアウト 8. 生産者の顔の見えるPOP表示</p> <ol style="list-style-type: none"> 遊湯館従業員を中心とした定期検証の実施⇒導線・通路幅・陳列高低差・店舗照明検討を随時実施(特に商品入荷量、季節に応じた陳列変更を重視) 商品イメージが一瞬でわかるPOP(広告)表示の作成(随時)⇒9月:北薩地域振興局主催「直売所みりよアツセミナー」にてPOP講習受講 <p>9. 情報機関への積極的なPR</p> <ol style="list-style-type: none"> 新聞社・ラジオ・テレビ・情報誌等を最大限活用したPRの実施(随時)⇒「まっふるマガジン」「九州じゃらん」「福岡ウオーカー」「読売新聞」「ゼンリン」「道の駅ガイド」記事掲載 自社ホームページの見直し検討の実施⇒上期では未実施 <p>10. 営業の強化</p> <ol style="list-style-type: none"> 観光バスへの営業を強化(9月)⇒バス会社訪問は未実施。(ただし、来訪バスへの定期利用のお願いを随時実施) デイサービス施設への営業を開始(6月)⇒事業所訪問は未実施。(ただし、来訪バスへの定期利用のお願いを随時実施) <p>11. イベント参加による店舗および商品のPR</p> <ol style="list-style-type: none"> 道の駅セット販売の実施(6月)⇒5月:第10回晴海「晴っ呼まっ呼」農産物提供(500キロ) 6月:薩摩川内市シティセールスサポーター登録 7月:南日本新聞社主催「新聞まつり」出店参加
					<p>【レストラン】</p> <p>1. 求めやすい提供価格</p> <ol style="list-style-type: none"> 年1回の入札による業者選定の検討(肉類・米) 入札困難な原材料については年2回の価格交渉の実施検討 直売所商品の今以上の活用(野菜類) <p>2. 好まれるメニュー構成</p> <ol style="list-style-type: none"> 定番メニュー追加への取組み実施(週替わり定食) <p>3. 気軽に利用できる店内雰囲気づくり</p> <ol style="list-style-type: none"> テレビの配置・雑誌の配置の検討 営業時間外は休憩スペースを拡大検討 高齢者にはわかりやすい「券売機」の利用から「注文を直接聞く」営業方法への転換の検討 <p>4. 素早く提供できる体制づくり</p> <ol style="list-style-type: none"> 作業工程・時間配分の確認の実施(随時) <p>5. 適正な営業時間の検討</p> <ol style="list-style-type: none"> 待ち合わせや打ち合わせの場所として活用してもらうため、喫茶(コーヒー)に限り、早めの営業の検討 <p>6. 地域の産品をいかしたメニュー提供</p> <ol style="list-style-type: none"> 「さつまあげ」、「きびなご」を食材テーマとしたメニューの試作取組み <p>7. イベント的な指向の変わったメニュー提供</p> <p>下期にて実施</p> <p>8. 空き時間を活用しての加工商品開発</p> <ol style="list-style-type: none"> ピン詰め加工の検討(味噌焼きタレ など)

経営改革プラン取組項目		過去の主な取組実績 (平成18～22年度)	平成23年度取組計画		
項目	内容		取組内容	実績	
① 事務事業の見直し	③ 軽食コーナー 1. 外から見える工夫（利用者誘導の工夫） 2. 年代にあった商品提供 3. 冬場の販売商品開発 4. 販売スタイルの変更 5. ‘オリジナルコロッケ’の大量製造・大量販売	【軽食コーナー】 ・旧厨房施設を軽食コーナーとして活用開始（平成21年5月～）	【軽食コーナー】 1. 外から見える工夫 ①のぼり旗の活用実施 2. 新商品販売検討 ①「かっぱのカレーうどん」販売の実施 ③ 冬場の販売商品開発 ①12月～9月に向けての商品開発取組み実施 4. 販売スタイルの変更 ①集客性の高い繁忙日の店頭販売の実施 5. コロッケの大量製造・大量販売 下期にて検討	【軽食コーナー】 1. 外から見える工夫 ①のぼり旗の活用実施 ⇒ 上期では未実施 2. 新商品販売検討 ①「かっぱのカレーうどん」販売の実施 ⇒ レストランコーナーにて実施 ③ 冬場の販売商品開発 ①12月～9月に向けての商品開発取組み実施 ⇒ 上期では未実施 4. 販売スタイルの変更 ①集客性の高い繁忙日の店頭販売の実施 ⇒ 7月・直売所内販売をメインに変更 5. コロッケの大量製造・大量販売 ⇒ 直売所メイン販売に伴い口コミで評価が高まり7月・8月は前年比較で約2倍に増加	
	④ 自販機 1. 不採算自販機の設置見直し 2. 自販機見直し制度の導入取組の検討	【自販機コーナー】 ・不採算自販機の撤去の実施（平成20年1月2台）	【自販機】 1. 不採算自販機の設置見直し ①不採算自販機の定期的検証および入れ替え指示（6ヶ月ごと） 2. 自販機見直し制度の導入検討 次年度以降の取組項目	【自販機】 1. 不採算自販機の設置見直し ①不採算自販機の定期的検証および入れ替え指示（6ヶ月ごと）⇒アベックス在飲料自販機の撤去を検討 2. 自販機見直し制度の導入検討 次年度以降の取組項目	
	【サービス提供部門】 ① 休憩施設	■ サービス提供部門 【休憩所】	【休憩所】 1. 景観イメージの創出 ①フラワーポット等の設置（市花「鹿の子ゆり」などの展示PR） 2. 休憩所コーナーの時間帯による拡大 ①8:30～11:00の時間帯拡大の検討 3. 中央通路休憩コーナーの陽ざし対策 ①「よしず」や「すだれ」の設置（一時的な対応） 4. 屋外噴水周りの休憩コーナーの充実 ①「よしず」や「すだれ」の設置（一時的な対応） 5. かつらぎる景観づくり ①「花・緑豊かなまちづくり事業」プランターの適正管理の実施 6. 屋外ベンチの改善 収益状況の推移を確認しながら下期にて検討（木製ベンチの製作）	【休憩所】 1. 景観イメージの創出 ①フラワーポット等の設置 ⇒ 継続して実施中 2. 休憩所コーナーの時間帯による拡大 ①8:30～11:00の時間帯拡大の検討 ⇒ 現在は休憩として随時利用可能 3. 中央通路休憩コーナーの陽ざし対策 ①「よしず」や「すだれ」の設置 ⇒ 未実施 4. 屋外噴水周りの休憩コーナーの充実 収益状況の推移を確認しながら下期にて検討（老朽化したテントから新たなテントへ） 5. かつらぎる景観づくり ①「花・緑豊かなまちづくり事業」プランターの適正管理の実施 ⇒ 出品者協力にて毎日実施 6. 屋外ベンチの改善 収益状況の推移を確認しながら下期にて検討（木製ベンチの製作）	
	② 駐車場	【駐車場】	【駐車場】 1. 身障者用駐車場枠（2カ所）の屋根設置 （平成18年10月） 2. 県道側駐車場の利便性の向上 （平成19年4月） 3. 長期滞在車両や違法駐車車両排除 ・道の駅目的外車両の注意啓蒙の実施及び看板設置 ・警察への定期巡回依頼及び不審車両の通報 ・駐車場区画線の引き直しの実施 ・駐車場入り口、駐車場内段差補修の実施	【駐車場】 1. 身障者用駐車場枠（2カ所）の屋根設置 次年度以降の取組項目 2. 県道側駐車場の利便性の向上 次年度以降の取組項目（軽車両専用設置など） 3. 長期滞在車両や違法駐車車両排除 ①張り紙等による注意喚起 ②警察への定期巡回依頼および不審車両の通報	【駐車場】 1. 身障者用駐車場枠（2カ所）の屋根設置 次年度以降の取組項目 2. 県道側駐車場の利便性の向上 次年度以降の取組項目（軽車両専用設置など） 3. 長期滞在車両や違法駐車車両排除 ①張り紙等による注意喚起 ⇒ 1日2回の見回り実施中 ②警察への定期巡回依頼および不審車両の通報 ⇒ 継続して実施中 ※鹿児島県身障者用駐車場利用証制度参加登録（6月）
	③ トイレ	【トイレ】	【トイレ】 1. 定期的なトイレ清掃の継続実施 ①朝夕の清掃専門員の配置および従業員定期巡回の実施 2. 施設の老朽化対策に伴う改修 ①軽微な修繕は自社実施（配管、ドアなど）、以外は市への報告および協議 3. トイレ通路のバリアフリー化 収益状況の推移を確認しながら下期にて検討 4. トイレ利用者へのマナーアップ推進 ①張り紙による注意喚起（トイレトイペーパー・石鹸の盗難、いたずら防止など）	【トイレ】 1. 定期的なトイレ清掃の継続実施 ①朝夕の清掃専門員の配置および従業員定期巡回の実施 ⇒ 継続して実施中 2. 施設の老朽化対策に伴う改修 ①軽微な修繕は自社実施（配管、ドアなど）、以外は市への報告および協議 ⇒ 薩摩川内市にて 中央通路・正面通路破損ガラスの交換実施 3. トイレ通路のバリアフリー化 収益状況の推移を確認しながら下期にて検討 4. トイレ利用者へのマナーアップ推進 ①張り紙による注意喚起（トイレトイペーパー・石鹸の盗難、いたずら防止など） ⇒ 継続して実施中	
	④ 足湯	【足湯】	【足湯】 1. 定期的な足湯清掃の継続実施 ①早番出勤者による清掃（毎日） 2. 足湯利用者への陽ざし対策 ①「よしず」や「すだれ」の設置 3. 夜間利用者へのマナーアップ推進 ①足湯利用心得の設置（6月）	【足湯】 1. 定期的な足湯清掃の継続実施 ①早番出勤者による清掃（毎日） ⇒ 継続して実施中 2. 足湯利用者への陽ざし対策 ①「よしず」や「すだれ」の設置 ⇒ 未実施 3. 夜間利用者へのマナーアップ推進 ①足湯利用心得の設置（6月） ⇒ 従来の看板を継続活用	
⑤ 湯の滝（取水）施設	【湯の滝】	【湯の滝（取水）施設】 1. 市比野温泉PRとしての活用 （21年11月～） 2. お湯汲み利用者へのマナーアップ啓蒙 ・「湯の滝利用ルール」看板設置（22年5月）	【湯の滝（取水）施設】 1. 市比野温泉PRとしての活用 ①安定循環のための捨て湯活用による市比野温泉泉質のPR実施 2. お湯汲み利用者へのマナーアップ推進 ①適正利用を目的とした適正ルールの張り出しおよび内容の随時検証実施	【湯の滝（取水）施設】 1. 市比野温泉PRとしての活用 ①安定循環のための捨て湯活用による市比野温泉泉質のPR実施 ⇒ 継続して実施中 2. お湯汲み利用者へのマナーアップ推進 ①適正利用を目的とした適正ルールの張り出しおよび内容の随時検証実施 ⇒ 従来看板を継続利用中	

経営改革プラン取組項目		過去の主な取組実績 (平成18～22年度)	平成23年度取組計画	
項目	内容		取組内容	実績
① 事務事業の見直し	<p>⑥観光案内に関する取組項目。</p> <p>1. 薩摩川内市旅館組合を中心とした宿泊施設との連携強化</p> <p>2. イベント情報提供充実のため、薩摩川内市、観光協会との連携強化</p> <p>3. 観光スポットマニュアル作成</p> <p>4. 良く聞かれる道路案内マニュアル作成</p>	<p>【観光案内所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・催しチラシの積極的な配布 ・市比野温泉地域の便利マップ作成中 <p>【広告塔電光掲示板】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共情報の無料掲載を実施(故障中) 	<p>【観光案内に関する取組項目】</p> <p>1. 薩摩川内市旅館組合を中心とした宿泊施設との連携強化</p> <p>①ハンフレットや最新情報の収集</p> <p>2. イベント情報提供充実のため、薩摩川内市、観光協会との連携強化</p> <p>①チラシやイベントスケジュールの情報収集</p> <p>3. 観光スポット案内図の作成</p> <p>①観光農園・公園・プール・工場見学施設などの調査取組み</p> <p>4. 道路案内図の作成</p> <p>①主要道路の目印、所要時間等の調査取組み</p>	<p>【観光案内に関する取組項目】</p> <p>1. 薩摩川内市旅館組合を中心とした宿泊施設との連携強化</p> <p>①ハンフレットや最新情報の収集 ⇒ 継続して実施中</p> <p>2. イベント情報提供充実のため、薩摩川内市、観光協会との連携強化</p> <p>①チラシやイベントスケジュールの情報収集 ⇒ 継続して実施中</p> <p>3. 観光スポット案内図の作成</p> <p>①観光農園・公園・プール・工場見学施設などの調査取組み ⇒ 現在は既存MAPにて対応</p> <p>4. 道路案内図の作成</p> <p>①主要道路の目印、所要時間等の調査取組み ⇒ 現在は既存MAPにて対応</p>
			<p>【直売所】</p> <p>1. 安定した品質の商品提供</p> <p>①出品者グループ代表委員会を中心とした意見交換会の開催(9月・10月・12月・3月)</p> <p>②市役所、北薩地域振興局、川薩保健所の関係機関を中心とした勉強会開催(2月)</p> <p>③「遊湯館直売所利用規定」内、「商品の販売期間」の見直し検討(3月)</p> <p>④従業員の日々の業務(商品管理)の継続実施及び強化(毎日)</p> <p>⑤出品者個別の意見交換、指導の継続実施及び強化(毎日)</p> <p>2. 安定した商品の提供 3. 豊富な商品の提供</p> <p>①出品者個別の意見交換、依頼の継続実施及び強化(随時)</p> <p>②農産物の自社仕入(市場商品)または、品薄時期対応の加工食品仕入検討</p> <p>4. 特色ある商品提供</p> <p>①薩摩川内市特産品コーナー出品取組み</p> <p>②他の道の駅との商品交流の実施検討</p> <p>5. 喜ばれるイベントの開催 6. 喜ばれる日曜市の開催</p> <p>①出品者グループを中心とした定期イベントの開催</p> <p>⇒ 10月:秋に新米祭り、11月:よさこい祭り、12月:暮の感謝祭</p> <p>②5%還元販売方法の見直し検討</p> <p>⇒ 全体5%還元から目玉商品販売への移行</p> <p>7. 買い物のしやすい店内レイアウト 8. 生産者の顔の見えるPOP表示</p> <p>①商工会店舗レイアウト指導員および遊湯館従業員を中心とした定期検証の実施</p> <p>⇒ 導線・通路幅・陳列高低差・店舗照明(随時)</p> <p>②商品イメージが一瞬でわかるPOP(広告)表示の作成(随時)</p> <p>9. 情報機関への積極的なPR</p> <p>①新聞社・ラジオ・テレビ・情報誌等を最大限活用したPRの実施(随時)</p> <p>②自社ホームページの見直し検討の実施</p> <p>10. 営業の強化</p> <p>①観光バスへの営業を強化(11月)</p> <p>②デイサービス施設への営業を開始(11月)</p> <p>11. イベント参加による店舗および商品のPR</p> <p>①薩摩川内市産業祭参加(11月)</p> <p>②きやんせふるさとフェスタ参加(3月)</p>	<p>【直売所】</p> <p>1. 安定した品質の商品提供</p> <p>①出品者グループ代表委員会を中心とした意見交換会の開催(9月・10月・12月・3月)</p> <p>⇒ 10月5日・12月9日開催</p> <p>②市役所、北薩地域振興局、川薩保健所の関係機関を中心とした勉強会開催(2月)</p> <p>⇒ 10月17日・12月10日開催</p> <p>③「遊湯館直売所利用規定」内、「商品の販売期間」の見直し検討(3月)</p> <p>⇒ 12月10日開催(出品者代表委員会にて検討実施)</p> <p>④従業員の日々の業務(商品管理)の継続実施及び強化(毎日) ⇒ 毎日実施</p> <p>⑤出品者個別の意見交換、指導の継続実施及び強化(毎日) ⇒ 搬入時毎日実施</p> <p>2. 安定した商品の提供 3. 豊富な商品の提供</p> <p>①出品者個別の意見交換、依頼の継続実施及び強化(随時)</p> <p>⇒ 商品搬入時随時実施、並びに、メール配信導入による入荷促進の実施</p> <p>②農産物の自社仕入(市場商品)または、品薄時期対応の加工食品仕入検討</p> <p>⇒ 市場商品取扱業者と密に連携を図り不足商品の補充依頼を随時実施</p> <p>4. 特色ある商品提供</p> <p>①薩摩川内市特産品コーナー出品取組み</p> <p>⇒ 特産品コンクール受賞商品の出品については積極的に取入れ実施(下期では、新規取り扱いはないが魚類への要望が高いため瓶烏や川内漁協など新たな商品の提供を依頼)</p> <p>②他の道の駅との商品交流の実施検討(道の駅分科会を通じて)</p> <p>⇒ 2月:鹿児島県道の駅責任者会議にて提案(実施には至っていない)</p> <p>5. 喜ばれるイベントの開催 6. 喜ばれる日曜市の開催</p> <p>①出品者グループを中心とした定期イベントの開催</p> <p>⇒ 10月:秋の新米祭り開催 11月:第8回市比野温泉よさこい祭り開催</p> <p>11月:瓶烏鮮魚祭開催 12月:暮の感謝祭開催</p> <p>10月～3月:食生活改善グループ提携による試食会定期開催実施(月1回)</p> <p>②5%還元販売方法の見直し検討</p> <p>⇒ 毎週日曜日 先着80名(1,000円以上お買上げ)抽選会実施(空くじ無し)</p> <p>7. 買い物のしやすい店内レイアウト 8. 生産者の顔の見えるPOP表示</p> <p>①遊湯館従業員を中心とした定期検証の実施</p> <p>⇒ 導線・通路幅・陳列高低差・店舗照明検討を随時実施(特に商品入荷量、季節に応じた陳列変更を重視)</p> <p>②商品イメージが一瞬でわかるPOP(広告)表示の作成(随時)</p> <p>⇒ 11月:鹿児島県商工会連合会経営革新指導員によるPOP指導を受ける</p> <p>9. 情報機関への積極的なPR</p> <p>①新聞社・ラジオ・テレビ・情報誌等を最大限活用したPRの実施(随時)</p> <p>⇒ 「鹿児島直売所」で「外戸本」記事掲載</p> <p>「NBの佐賀ラジオ」「MBCラジオ」「NHKラジオ」道の駅紹介出演</p> <p>②自社ホームページの見直し検討の実施</p> <p>⇒ 次年度以降で実施</p> <p>10. 営業の強化</p> <p>①観光バスへの営業を強化(11月)</p> <p>⇒ バス会社訪問は未実施。(ただし、来訪バスへの定期利用のお願いを随時実施)</p> <p>②デイサービス施設への営業を開始(11月)</p> <p>⇒ 事業所訪問は未実施。(ただし、来訪バスへの定期利用のお願いを随時実施)</p> <p>11. イベント参加による店舗および商品のPR</p> <p>⇒ 10月:鹿児島県道の駅交流「霧島がねコンテスト」イベント参加</p> <p>11月:薩摩川内市産業祭&JAフェスタ出店参加</p> <p>3月:薩摩川内市きやんせふるさとフェスタ出店参加</p>
<p>【レストラン】</p> <p>1. 求めやすい提供価格</p> <p>①年1回の入札による業者選定の実施(12月)</p> <p>②入札困難な原材料については年2回の価格交渉の実施(12月)</p> <p>③直売所商品の今以上の活用(野菜類)</p> <p>2. 好まれる定番メニュー構成</p> <p>①週替わり定食追加への取組み検討</p> <p>3. 気軽に利用できる店内雰囲気づくり</p> <p>①テレビの配置・雑誌の配置</p> <p>②営業時間外は休憩スペースを拡大検討</p> <p>③高齢者にはわかりやすい「券売機」の利用から「注文を直接聞く」営業方法への転換の検討</p> <p>4. 業早く提供できる体制づくり</p> <p>①作業工程・時間配分の確認に基づく見直し実施(随時)</p> <p>5. 適正な営業時間の検討</p> <p>①待ち合わせや打ち合わせの場所として活用してもらうため、喫茶(コーヒー)に限り、早めの営業の実施</p> <p>6. 地域の産品をいかしたメニュー提供</p> <p>7. イベント的な指向の変わったメニュー提供</p> <p>①二十日そばの日・地鶏鍋の日・ぜんざいサービスの日・甘酒サービスの日 など</p> <p>8. 空き時間を活用しての加工商品開発</p> <p>①商工会エキスパート人材協力による具体的検討</p>	<p>【レストラン】</p> <p>1. 求めやすい提供価格</p> <p>①年1回の入札による業者選定の実施(12月)</p> <p>⇒ 入札は未実施。ただし、上期同様、現行取扱業者への値引き交渉を実施(2月)</p> <p>②入札困難な原材料については年2回の価格交渉の実施検討(12月)</p> <p>⇒ 上期同様、現行取扱業者への見積提示による値引き交渉を実施(2月)</p> <p>③直売所商品の今以上の活用(野菜類)</p> <p>⇒ 直売所商品を優先して使用中(特に漬物類を自社製造)</p> <p>2. 好まれるメニュー構成</p> <p>①定番メニュー追加への取組み実施(週替わり定食)</p> <p>⇒ 日替わり定食の内容の随時変更(販売数量の少ないメニューは変更)</p> <p>3. 気軽に利用できる店内雰囲気づくり</p> <p>①テレビの配置・雑誌の配置の検討 ⇒ 次年度以降で検討</p> <p>②営業時間外は休憩スペースを拡大検討</p> <p>⇒ 利用者への声掛けなど気軽に休憩利用の促進を随時実施(案内掲示も含めて)</p> <p>③高齢者にはわかりやすい「券売機」の利用から「注文を直接聞く」営業方法への転換の検討</p> <p>⇒ 上期にて券売機継続利用を決定 ⇒ 3月に見積入札による新しい券売機の購入実施</p> <p>4. 業早く提供できる体制づくり</p> <p>①作業工程・時間配分の確認の実施(随時) ⇒ 従業員間で随時実施</p> <p>5. 適正な営業時間の検討</p> <p>①待ち合わせや打ち合わせの場所として活用してもらうため、喫茶(コーヒー)に限り、早めの営業の検討 ⇒ 上期同様、現在は要望があれば対応中</p>			

経営改革プラン取組項目		過去の主な取組実績 (平成18～22年度)	平成23年度取組計画	
項目	内容		取組内容	実績
① 事務事業の見直し			<p>【軽食コーナー】</p> <p>1. 外から見える工夫 ①のぼり旗の活用の継続実施</p> <p>2. 年代にあった商品提供 ①「かっぱのカレーうどん」販売の実施</p> <p>3. 各場の販売商品開発 ①12月～3月に向けての商品開発取組み実施(地域野菜のおでん)</p> <p>4. 販売スタイルの変更 ①乗客性の高い繁忙日の店頭販売の継続実施</p> <p>5. コロッケの大量製造・大量販売 ①商工会エキスパート人材協力による具体的検討</p> <p>【自販機】</p> <p>1. 不採算自販機の設置見直し ①不採算自販機の定期的検証および入替指示(6ヶ月ごと)</p> <p>2. 自販機見直し制度の導入検討 次年度以降の取組み項目</p> <p>【休憩所】</p> <p>1. 景観イメージの創出 ①フラーボット等の継続設置</p> <p>2. 休憩所コーナーの時間帯による拡大 ①8:30～11:00の時間帯拡大の実施</p> <p>3. 中央通路休憩コーナーの隔ざし対策 ①「よしず」や「すだれ」の継続設置(一時的な対応)</p> <p>4. 屋外噴水周りの休憩コーナーの充実 収益状況の推移を確認しながら検討(老朽化したテントから新たなテントへ)</p> <p>5. くつろげる景観づくり ①「花・緑豊かなまちづくり事業」プランターの適正管理の継続実施</p> <p>6. 屋外ベンチの改善 収益状況の推移を確認しながら検討(木製ベンチの製作)</p> <p>【駐車場】</p> <p>1. 身障者用駐車場枠(2ヶ所)の屋根設置 次年度以降の取組み項目</p> <p>2. 県道駐車場側の利便性の向上 次年度以降の取組み項目(軽車両専用設置など)</p> <p>3. 長期滞在車両や違法駐車車両排除 ①張り紙等による注意の喚起</p> <p>②警察への定期巡回依頼および不審車両の通報</p> <p>【トイレ】</p> <p>1. 定期的なトイレ清掃の継続実施 ①朝夕の清掃専門員の配置および従業員定期巡回の実施</p> <p>2. 施設の老朽化対策に伴う改修 ①軽微な修繕は自社実施(配管、ドアなど)、以外は市への報告および協議</p> <p>3. トイレ通路のバリアフリー化 ①一部補修の検討(薩摩川内市との協議)</p> <p>4. トイレ利用者へのマナーアップ推進 ①張り紙による注意喚起(トイレレットペーパー・石鹸の盗難、いたずら防止など)</p> <p>【足湯】</p> <p>1. 定期的な足湯清掃の継続実施 ①早番出勤者による清掃(毎日)</p> <p>2. 足湯利用者への隔ざし対策 ①「よしず」や「すだれ」の継続設置</p> <p>3. 夜間利用者へのマナーアップ推進 ①足湯利用心得の継続設置</p> <p>【湯の滝(取水)施設】</p> <p>1. 市比野温泉PRとしての活用 ①安定循環のための捨て湯活用による市比野温泉泉質のPR実施</p> <p>2. お湯汲み利用者へのマナーアップ推進 ①適正利用を目的とした適正ルールの張り出しおよび内容の随時検証実施</p>	<p>6. 地域の産品をいかしたメニュー提供 ①「さつまあげ」「きびなご」を食材テーマとしたメニューの試作取組み ⇒ 12月:「薩摩地鶏の鶏飯」試作(販売までは至っていない) 12月・1月:商工会主催「ご当地料理開発小委員会」参加(きんかんを素材にして)</p> <p>7. イベント的な指向の変わったメニュー提供 ⇒ 10月:「豆腐定食」11月:「いのししカレー」1月:「二十日そばセット」限定販売</p> <p>8. 空き時間活用しての加工商品開発 ①ピン詰め加工の検討(味噌焼きタレ など) ⇒ 次年度以降で検討</p> <p>【軽食コーナー】</p> <p>1. 外から見える工夫 ①のぼり旗の活用実施 ⇒ 次年度以降に実施</p> <p>2. 年代にあった商品提供 ①「かっぱのカレーうどん」販売の実施 ⇒ レストランコーナーにて実施</p> <p>3. 各場の販売商品開発 ①12月～3月に向けての商品開発取組み実施 ⇒ 現在、コロッケ製造以外への着手困難な状況</p> <p>4. 販売スタイルの変更 ①乗客性の高い繁忙日の店頭販売の実施 ⇒ コロッケの直売所内販売を継続実施 10月～12月:ソフクリームの特価販売実施(月1回)</p> <p>5. コロッケの大量製造・大量販売 ⇒ 大量製造に向けての設備設置の必要性は高まっているが次年度以降の検討 (10月～3月 前年対比で2倍～3倍の販売数量で推移)</p> <p>【自販機】</p> <p>1. 不採算自販機の設置見直し ①不採算自販機の定期的検証および入替指示(6ヶ月ごと) ⇒ アベックス缶飲料自販機の撤去を決定(5月末日まで) 6月から他のメーカーを設置</p> <p>2. 自販機見直し制度の導入検討 次年度以降の取組み項目</p> <p>【休憩所】</p> <p>1. 景観イメージの創出 ①フラーボット等の設置 ⇒ 継続して実施中</p> <p>2. 休憩所コーナーの時間帯による拡大 ①8:30～11:00の時間帯拡大の検討 ⇒ 現在は休憩として随時利用可能</p> <p>3. 中央通路休憩コーナーの隔ざし対策 ①「よしず」や「すだれ」の設置(一時的な対応) ⇒ 未実施</p> <p>4. 屋外噴水周りの休憩コーナーの充実 収益状況の推移を確認しながら下期にて検討(老朽化したテントから新たなテントへ) ⇒ 次年度以降の検討</p> <p>5. くつろげる景観づくり ①「花・緑豊かなまちづくり事業」プランターの適正管理の実施 ⇒ 出品者協力にて毎日実施</p> <p>6. 屋外ベンチの改善 ⇒ 次年度以降の検討</p> <p>【駐車場】</p> <p>1. 身障者用駐車場枠(2ヶ所)の屋根設置 次年度以降の取組み項目</p> <p>2. 県道駐車場側の利便性の向上 次年度以降の取組み項目(軽車両専用設置など)</p> <p>3. 長期滞在車両や違法駐車車両排除 ①張り紙等による注意の喚起 ⇒ 1日2回の見回り実施中</p> <p>②警察への定期巡回依頼および不審車両の通報 ⇒ 継続して実施中 ※3月からは駐在所員による施設内の巡回も依頼 ※鹿児島県身障者用駐車場利用証制度参加登録(6月)</p> <p>【トイレ】</p> <p>1. 定期的なトイレ清掃の継続実施 ①朝夕の清掃専門員の配置および従業員定期巡回の実施 ⇒ 継続して実施中</p> <p>2. 施設の老朽化対策に伴う改修 ①軽微な修繕は自社実施(配管、ドアなど)、以外は市への報告および協議 ⇒ 薩摩川内市にて 正面駐車場スロープの増設実施</p> <p>3. トイレ通路のバリアフリー化 ⇒ 薩摩川内市にて トイレ前通路バリアフリー化工事実施 男女和式トイレ手すり設置 男女洋式トイレベビーチェア設置(各1カ所)</p> <p>4. トイレ利用者へのマナーアップ推進 ①張り紙による注意喚起(トイレレットペーパー・石鹸の盗難、いたずら防止など) ⇒ 継続して実施中</p> <p>【足湯】</p> <p>1. 定期的な足湯清掃の継続実施 ①早番出勤者による清掃(毎日) ⇒ 継続して実施中</p> <p>2. 足湯利用者への隔ざし対策 ①「よしず」や「すだれ」の設置 ⇒ 未実施</p> <p>3. 夜間利用者へのマナーアップ推進 ①足湯利用心得の設置(6月) ⇒ 従来の看板を継続活用</p> <p>【湯の滝(取水)施設】</p> <p>1. 市比野温泉PRとしての活用 ①安定循環のための捨て湯活用による市比野温泉泉質のPR実施 ⇒ 継続して実施中</p> <p>2. お湯汲み利用者へのマナーアップ推進 ①適正利用を目的とした適正ルールの張り出しおよび内容の随時検証実施 ⇒ 従来看板を継続利用中</p>

経営改革プラン取組項目		過去の主な取組実績 (平成18～22年度)	平成23年度取組計画	
項目	内容		取組内容	実績
			【観光案内に関する取組項目】 1. 薩摩川内市旅館組合を中心とした宿泊施設との連携強化 ①パンフレットや最新情報の収集 2. イベント情報提供充実のため、薩摩川内市、観光協会との連携強化 ①チラシやイベントスケジュールの情報収集 3. 観光スポット案内図の作成 ①観光案内図・公園・フェリス工場見学施設などの作成取組み 4. 道路案内図の作成 ①主要道路の目印、所要時間等の作成取組み	【観光案内に関する取組項目】 1. 薩摩川内市旅館組合を中心とした宿泊施設との連携強化 ①パンフレットや最新情報の収集 ⇒ 継続して実施中 2. イベント情報提供充実のため、薩摩川内市、観光協会との連携強化 ①チラシやイベントスケジュールの情報収集 ⇒ 継続して実施中 3. 観光スポット案内図の作成 ①観光案内図・公園・フェリス工場見学施設などの調査取組み ⇒ 現在は既存MAPIにて対応 4. 道路案内図の作成 ①主要道路の目印、所要時間等の調査取組み ⇒ 現在は既存MAPIにて対応
② 組織体制の見直し	①ローテーション勤務による年間340日の営業日数の維持(実施中) ②臨時社員(パート・アルバイト)の1日最長6時間の範囲の中でローテーション勤務 ③優秀な人材の確保による更なるサービス向上 ④営業内容に則した職員配置の柔軟な対応	①民間型の企業とするため社長・専務を民間から継続登用(平成19年5月～) ②ローテーション勤務による年間345日の営業日数の維持 ③部門担当取締役の選任(直売所担当取締役・飲食部門担当取締役) ④副支配人制度の導入	①民間型の企業とするため社長、専務、常務を民間から継続登用(平成23年5月～) ②ローテーション勤務による年間345日営業の確保	①民間型の企業とするため社長、専務、常務を民間から継続登用(平成23年5月～) ⇒ 5月の定時株主総会にて常務を1名から2名に増員(民間役員) ②ローテーション勤務による年間345日営業の確保 ⇒ 実営業日 347日
			①上期取組内容の継続実施	①上期取組内容の継続実施 ⇒ 上期同様、継続実施
③ 人事・給与制度の確立	①新たな給与規定による営業実績に応じた決定体系の継続 ②高い能力の利用者サービスが提供可能な人材の育成	①役職員研修の実施 出品者合同先進地研修の実施 ②勤務体系 ・お客様の利用時間、及び、売上を判断基準とし、パート社員の勤務時間割りの見直し実施 ③社員3名の担当部門責任者制度の導入	①出品者合同先進地研修の実施(9月) ②お客様の利用時間及び売上を判断基準とし、パート社員の勤務時間割りの見直し実施	①出品者合同先進地研修の実施 ⇒ 日頃の意見交換も実施していることから今回は未実施 ②お客様の利用時間及び売上を判断基準とし、パート社員の勤務時間割りの見直し実施 ⇒ 毎月の売上動向や売上目標に基づき、従業員との話し合いのもと臨機応変な見直しを図っている。(売上に応じたアルバイトの活用も含めて)
			①お客様の利用時間及び売上を判断基準とし、パート社員の勤務時間割りの見直し実施	①お客様の利用時間及び売上を判断基準とし、パート社員の勤務時間割りの見直し実施 ⇒ 上期同様、継続実施
④ 経営状況の点検、評価	①専門家による経営診断の実施 ②具体的成果目標の設定 ③顧客満足度調査の実施	①専門家による経営診断の実施 商工会エキスパート人材における経営改善指導の実施	①商工会エキスパート人材協力による経営改革取組の検討 ②顧客満足度調査の実施	①商工会エキスパート人材協力による経営改革取組の検討 ⇒ 飲食部門の向上に向けて飲食店専門家指導(6月～9月 4回実施) 鹿児島県商工会連合会指導員による経営相談(10月～2月 3回実施) ②顧客満足度調査の実施 ⇒ 全体は12月実施。飲食部門はアンケートを常設して実施。
			①上期取組内容の継続実施 ②総体売上・総体利用者 ⇒ 前年対比1.5%増目標	①上期取組内容の継続実施 ②総体売上・総体利用者 ⇒ 前年対比1.5%増目標 ⇒ 3月見込 利用者:前年対比2%減 売上:前年対比:1%増
⑤ 情報の公表と管理	①市などの広報誌やホームページによる財務諸表や事業内容、事業計画等の公表、情報公開 ②個人情報保護法に準じた規約の整備や体制作り	①経営情報の公表(市広報紙、市ホームページなど) ②個人情報保護法に準じた個人情報の保護、適正な取得	①22年度までの取組内容の継続実施	①22年度までの取組内容の継続実施
			①上期取組内容の継続実施	①上期取組内容の継続実施
上期総括	上期における販売部門重点項目は、直売所部門においては新システム導入における出品者教育並びに商品充実化、レストラン部門においては専門家指導による材料費節減並びにメニュー構成の充実化、軽食コーナーにおいては販売拡大に向けての取組強化でした。結果、直売所では7月1日より新システムが稼働し、従来と大きく違う点として個々の販売数量確認のメール配信が可能となり、また、値札発行機の機能向上による商品搬入時の時間短縮にもつながり出品者にとっても効率の良い内容となりました。レストラン部門においては、6月～9月にかけて商工会の事業を活用し計4回の専門家指導を受け、仕入材料費の再検討並びにメニュー内容の見直しを実施しました。軽食部門においては、7月からコロッケ販売を直売所中心にすることにより大幅な販売数量増につながりました。それぞれ、今までの弱い部分を強化する目的で実施した事業でありましたが今後に向けて一定の成果が期待できる内容であったと思います。その他、道の駅の基本機能であります、休憩・トイレ・駐車場・情報提供といった点においても、従来の管理を継続して実施する事で大きな問題もなく安定した管理が出来たと満足度調査の結果から見てもうかがえると考えています。全体的には、年々厳しさの増す環境にはなりますが、利用者に対して安定したサービスの提供が出来たと考えています。			
下期総括	下期においては、上期に引き続き販売重点項目の強化に力を注いできました。結果、やや減少傾向になりつつあった利用者もわずかではありますが向上きに転じてきました。しかしながら、天候による入込み客の変動が激しく当初の目標値に達するには至らない厳しい状況でありました。次年度に向けては、天候に大きく左右される事の少ない、安定した利用者が見込める魅力ある道の駅づくりへの取組が必要だと強く感じさせられました。そのなか、薩摩川内市においては、通路部分の破損ガラスの取り替え、コンクリート柱の再塗装、トイレ前通路のバリアフリー化、正面駐車場のスロープ増設、裏側駐車場の凹凸補修工事、トイレ内手すり設置、ベビーチェア設置など施設の利便性、並びに安全性向上に向けて多くの対応をしていただきました。来年度に向けては、本年度同様、販売重点項目の更なる充実化に向けての取組み、物産館として魅力ある雰囲気づくりに向けての取組み、道の駅として安心して利用いただける環境づくりに向けての取組みを強化し、利用者に今まで以上に喜んでいただけるように事業を進めていきたいと考えます。			